

でんおん連続講座 申込方法

はがき・FAX・電子メールのいずれかの方法により、以下の項目についてご記入の上、お申込みください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号(FAX番号) ⑤希望する講座

申込先・問合せ先

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 事務局連携推進課(事業推進担当)

TEL 075-334-2204

FAX 075-334-2241

E-mail public@kcua.ac.jp

会場 京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

京都市西京区大枝沓掛町13-6
(新研究棟7階)

● 阪急桂駅東口バス停より

京阪京都交通バス 1・2・13・14・25・28 系統
乗車約20分、「芸大前」下車、徒歩すぐ

● JR京都駅【C2のりば】より

京阪京都交通バス 2・14・28 系統に乗り、「芸大前」
(約45分)下車、徒歩すぐ

※ 運行時刻、その他交通機関についての詳細情報は、
各社のホームページをご確認ください。



でんおん 連続講座

要申込
有料

- 定員 各講座の紹介を
ご参照ください。
- 申込受付 各講座の開講初日
1ヶ月前より開始
- 開場 開始時間の30分前
※受講料は当日受付にて
頂戴いたします。

音源・映像・実演を交えて楽譜などの演奏資料を
読み進めることで、専門的なテーマに気軽に触
れて頂ける市民講座です。

皆様のご参加をお待ちしております。

伝音セミナー 日本の希少音楽資源にふれる

申込不要
参加無料

- 定員 各回につき先着 50名
- 開場 午後2時から

日本伝統音楽の講座に参加するのは初め
てという方にも、気軽に受講いただける
セミナーです。

是非ご参加ください！

- A 音楽としての義太夫節**
5月10日(水)～7月12日(水)【全10回】
講師：山田 智恵子 (日本伝統音楽研究センター教授)
- B 能の囃子・音曲の骨組みを理解する**
5月10日(水)～7月5日(水)【全8回】
講師：藤田 隆則 (日本伝統音楽研究センター教授)
- C 琴の諸相と京都の琴3**
5月13日(土)・5月27日(土)・6月10日(土)・6月24日(土)
【隔週土曜日・全4回】
講師：武内 恵美子 (日本伝統音楽研究センター准教授)
- D 常磐津節実践入門(その5)**
5月16日(火)～8月8日(火)【隔週火曜日・全7回】
講師：竹内 有一 (日本伝統音楽研究センター准教授)
- E PENDULUM 3
HOGAKU @ KYOTO GEIDAI
英語による日本音楽概論**
8月15日(火)・8月16日(水)・8月17日(木)【全3日】
講師：時田アリソン (日本伝統音楽研究センター所長)
- F 三味線音楽研究
—町田佳聲をめぐって—**
9月8日(金)・9月9日(土)・9月16日(土)【全3回】
講師：山田 智恵子 (日本伝統音楽研究センター教授) 他

- 第1回 京都のうた(その3)
5/11(木)
講師：大西 秀紀
(日本伝統音楽研究センター客員研究員)
- 第2回 雅楽の今昔
—復元・再現演奏を聴く—(その2)
6/1(木)
講師：田 敏 智志 (日本伝統音楽研究センター准教授)
- 第3回 日本の作曲家を聴く(その3)
7/6(木)
講師：竹内 直
(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
- 第4回 『玉堂琴譜』と催馬楽再考
9/7(木)
講師：武内 恵美子 (日本伝統音楽研究センター准教授)

でんおん連続講座

要申込・有料

お申し込み方法は本紙外面に記載しています。

A 音楽としての義太夫節 【全10回】
5月10日(水)～7月12日(水) 各13:00～14:30
講師 | 山田 智恵子
(日本伝統音楽研究センター教授)
ゲスト | 神津 武男
(日本伝統音楽研究センター客員研究員)
※初回のみ
定員 | 30名 受講料 | 5,000円
会場 | 新研究棟7階・合同研究室1

B 能の囃子・音曲の骨組みを理解する 【全8回】
5月10日(水)～7月5日(水) 各10:40～12:10
※6月14日(水)を除く
講師 | 藤田 隆則
(日本伝統音楽研究センター教授)
定員 | 30名 受講料 | 5,000円
会場 | 新研究棟7階・合同研究室1

C キン 琴の諸相と京都の琴3 【隔週土曜日・全4回】
5月13日(土)・5月27日(土)
6月10日(土)・6月24日(土) 各13:00～16:10
講師 | 武内 恵美子
(日本伝統音楽研究センター准教授)
定員 | 20名 受講料 | 4,000円
会場 | 新研究棟7階・合同研究室1

この講座では、ことば(詞章)と旋律の関係に着目し、音楽としての義太夫節にスポットを当てます。今回は並木宗輔絶筆の作品で、本年が没後250年にあたる豊竹筑前少掾初演の『一谷嫩軍記』三段目切「熊谷陣屋段」を取り上げる予定です。

開催日程と内容	
第1回	5月10日 「一谷嫩軍記」の成立と展開(ゲスト講師:神津武男)
第2回	5月17日 「熊谷陣屋の段」の音楽構成
第3回	5月24日 「熊谷陣屋の段」その1
第4回	5月31日 「」その2
第5回	6月7日 「」その3
第6回	6月14日 「」その4
第7回	6月21日 「」その5
第8回	6月28日 「」その6
第9回	7月5日 「熊谷陣屋の段」演奏比較
第10回	7月12日 まとめ

室町時代に成立した能。数時間にもおよぶ力のこもる演技をしっかりと受けとめるためには、謡の内容理解に加え、囃子や音曲の理解も必要です。今回は能一番の小段の流れに焦点をあてて音曲面の組立ての理解を試みます。能の鑑賞歴・稽古歴は長くても「わかった」という実感が得られないと感じられる方、音楽面への関心がある方、ぜひ受講してください。

開催日程と内容	
第1回	5月10日 役者の登場
第2回	5月17日 序:人物の登場その1
第3回	5月24日 序:人物の登場その2
第4回	5月31日 破:人物による物語の展開その1
第5回	6月7日 破:人物による物語の展開その2
第6回	6月21日 破:人物による物語の展開その3
第7回	6月28日 急:物語のはてに働く、舞う
第8回	7月5日 急:物語の結末と祝言

昨年度の連続講座G「京都の琴2」に引き続き、琴(キン/七弦琴/古琴)の持つ特徴的で魅力的な世界観を紹介します。毎回、講義と体験実習を行います。講義では、(1) 琴のさまざまな文化的側面を学びつつ、(2) 各回1曲、琴の代表的な曲を取り上げて、曲目の背景や内容について解説した上で鑑賞します。また、(3) 江戸時代に京都で活躍した琴士を、各回ひとりずつ取り上げて紹介し、京都における琴の世界を紐解いていきます。体験では、受講者の進捗に合わせて指導します。初めて触れる方でも大丈夫です。多少経験がある方も、ぜひご参加ください。ただし、体験ですので、中級以上の方への実技指導は致しかねます。詳細はお問い合わせください。※楽器は用意しますが、人数によっては複数で1張をご使用いただく場合があります。琴を所有されている方は、ご持参くださっても構いません。

D 常磐津節実践入門(その5) 【全7回】
5月16日(火)～8月8日(火) 【隔週火曜日】
各10:40～12:10
講師 | 常磐津若音太夫(竹内 有一)
(日本伝統音楽研究センター准教授)
定員 | 10名 受講料 | 5,000円
会場 | 新研究棟7階・合同研究室1

京都生まれの初世常磐津文字太夫が創始し江戸歌舞伎で大成させた常磐津節。古典曲を題材に、作品の構成や特徴、表現技法を考察しながら、浄瑠璃(語り)と三味線、それぞれの演奏体験を深めます。

開催日程と内容	
第1回	5月16日 課題設定とビデオ視聴
第2回	5月30日 課題研究(演奏実践)
第3回	6月13日 課題研究(演奏実践)
第4回	6月27日 課題研究(演奏実践)
第5回	7月11日 課題研究(演奏実践)
第6回	7月25日 課題研究(演奏実践)
第7回	8月8日 試演会とまとめ

E PENDULUM 3
HOGAKU@KYOTO GEIDAI
英語による日本音楽概論 【3日間】
8月15日(火)・8月16日(水)・8月17日(木)
各10:00～13:00, 14:00～17:00
講師 | 時田 アリソン
(日本伝統音楽研究センター所長)
定員 | 30名 受講料 | 10,000円
会場 | 新研究棟7階・合同研究室1・2

古くから現在まで伝承されている日本の音楽とその近代的発展を、英語による講義で紹介します。英語で日本音楽をどう説明すればよいか、日本人と留学生が一緒に考えながら、手軽に日本の音楽文化について大まかな理解を得ることを目指します。雅楽、声明、そして語りの音楽(平家・浄瑠璃)と演劇(能・文楽・歌舞伎)との関係や、器楽(三味線・箏・尺八)について講義に加え、体験的なワークショップを行います。

F 三味線音楽研究
一町田佳聲をめぐって 【全3日(9コマ)】
9月8日(金)・9月9日(土)・9月16日(土)
各回①10:30～12:00, ②13:00～14:30, ③15:00～16:30
講師 | 山田 智恵子
(日本伝統音楽研究センター教授) 他
定員 | 30名 受講料 | 5,000円
会場 | 新研究棟7階・合同研究室1

この講座では、伝音センタープロジェクト研究「歴史的音源から見る三味線音楽の音楽的研究――町田佳聲とその周辺」の成果公開を目的として、レコード、三味線音楽、旋律型研究、町田佳聲などをキーワードに、各共同研究員の研究テーマによる口頭発表を行う予定です。

開催日程	
9/8	① 山田智恵子 ② 小塩さとみ ③ 大久保真利子
9/9	① 寺田真由美 ②+③ 野川美穂子、配川美加、田中悠美子、吉野雪子
9/16	① 大西秀紀 ② 薦田治子 ③ 廣井榮子

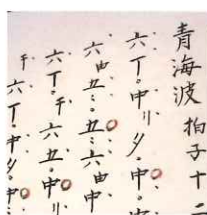
伝音セミナー

申込不要・参加無料

定員 | 各講座とも50名 会場 | 新研究棟7階・合同研究室1

第1回 京都のうた(その3)
5月11日(木) 14:40～16:10
講師 | 大西 秀紀
(日本伝統音楽研究センター客員研究員)
「京都のうた」の3回目は、京都府下の「峰山小唄」「綾部小唄」「八木音頭」「久美浜節」といったご当地ソングを始め、「市立葵小学校校歌」「京都市消防の歌」「京都市歌(オーケストラ版)」、宮川町「京おどりの」フィナーレを飾る「宮川音頭」などをお聴き頂きます。
※ 曲目を追加・変更する場合があります。

第2回 雅楽の今昔
―復元・再現演奏を聴く―(その2)
6月1日(木) 14:40～16:10
講師 | 田鍬 智志
(日本伝統音楽研究センター准教授)



日本の雅楽は長い伝承の間、盛衰を経て今日に至っています。それぞれの時代の雅楽はどのような音楽なのでしょう。か。といっても古楽譜解読の結果立ち現れる音楽は、解読する人によりかなり違ってきます。さまざまな研究者・演奏者による復元・再現演奏を聴いてみます。

第3回 日本の作曲家を聴く(その3)
レコード『平家物語』による郡読 知盛を聴く
7月6日(木) 14:40～16:10
講師 | 竹内 直
(日本伝統音楽研究センター非常勤講師)



今回は、作曲家の佐藤慶次郎が音楽を担当したレコード『平家物語』による郡読「知盛」を聴きます。郡読とは、一人ないしは複数の読み手による音声表現であり、演劇的な要素を含みます。古典作品の郡読と佐藤慶次郎の音楽が織りなす世界を紹介します。

第4回 『玉堂琴譜』と催馬楽再考
9月7日(木) 14:40～16:10
講師 | 武内 恵美子
(日本伝統音楽研究センター准教授)



昨年度の伝音セミナーおよび公開講座でも取り上げました浦上玉堂の琴曲化催馬楽譜『玉堂琴譜』について、公開講座ではお伝えできなかった部分も含めて再度詳しくお話しつつ、復元演奏の比較をお聞きいただきます。